

●朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)

金正恩委員長にベトナム共産党委員長から祝電

2020年10月9日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩朝鮮労働党委員長にベトナム共産党中央委員会書記長でベトナム社会主義共和国国家主席であるグエン・フー・チョンから同日、祝電が寄せられた。祝電は、次のとおり。

「私は、朝鮮労働党創立75周年(1945年10月10日～2020年10月10日)に際して、ベトナムの党と国家と人民を代表して委員長同志と、そしてあなたを通じて朝鮮労働党中央委員会と朝鮮人民に最も熱烈な祝賀を送ります。

朝鮮労働党はこれまでの75年間、国家と人民を指導して社会主義を建設して守り、経済を発展させて人民の生活を段階別に向上させるための活動で重要な成果を収めました。

私は、委員長同志の指導の下で朝鮮労働党が国と人民を導いて今後、さらなる成果を収めるものと信じます。

私は、わが両党の協力関係が特に、委員長同志の2019年3月のベトナム公式親善訪問以降、絶えず強化されていることについてうれしく思います。

私は、ベトナム共産党と朝鮮労働党の伝統的な友好・協力関係が両国人民の利益に合わせて引き続き立派に発展し、地域と世界の平和と安定、協力に寄与すると確信します。

委員長同志が健康で幸せであることと、崇高な職務の遂行においてさらなる成果を収めることを願います。」

金正恩委員長にキューバ共産党中央委員会第1書記から祝電

2020年10月9日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩朝鮮労働党委員長に同日、キューバ共産党中央委員会のラウル・カストロ・ルス第1書記から祝電が寄せられた。祝電は、次のとおり。

「尊敬する同志、

私は、朝鮮労働党創立75周年に際してキューバ共産党の名であなたに心からの祝賀を送ります。

今年、わが両国は外交関係設定60周

年を記念しています。

これまでの60年間、変わることなくつながってきた立派な友好・協力のきずなは、わが両党、両国人民の間に存在する厚い信頼と兄弟の信義の明確な証左となります。

革命的あいさつを送ります。」

朝鮮労働党創立75周年慶祝閱兵式での金正恩演説

2020年10月10日発『朝鮮中央通信』によれば、同日、午前0時に始まった朝鮮労働党創立75周年慶祝閱兵式で金正恩朝鮮労働党委員長が演説を行った。

演説内容は次の通り。

「めでたい10月の祝日を迎えた全国の人民と人民軍将兵の皆さん！

社会安全軍将兵と労働赤衛軍、赤の青年近衛隊隊員諸君、党創立75周年慶祝代表と平壤市民の皆さん！

栄えある10月の祝日閱兵式に参加した閲兵部隊の指揮官、戦闘員諸君！

親愛なる同志の皆さん！

栄えあるわが党の創立の日が来ました。

偉大な栄光の夜を迎えました。

なぜか、類を見ない困難にあった今年に迎える党創立節は、この栄光の夜がようやく来たという事実だけでもあまりにも感激的です。

偉大なわが党の創立75周年を迎え、私は朝鮮労働党中央委員会を代表して、今日の10月の祝日を大きな栄光と誇りをもって輝かせたすべての人に心から祝賀の挨拶をささげます。

全人民に熱い感謝と祝賀の挨拶をささげます。

同志の皆さん！

偉大な祝日のこの夜、首都の通りとこの栄光の広場はこのように歓喜と誇りに満ちていますが、今日のこの栄光の瞬間が今、全国各地の数多くの党員と労働者階級、われわれの革命軍隊将兵の目に見えない努力と献身によって守られていることをわれわれは忘れてはなりません。

今日のこの栄光の瞬間をもらし、守るために今年、どんなに多くの人たちがひど

い環境にたえて奮闘してきたのでしょうか。

われわれがどれほど多くの挑戦をはねのけてここまで来たのでしょうか。

特に今年、予想外に出くわした防疫戦線と自然災害復旧戦線で人民軍将兵が発揮した愛国的かつ英雄的な献身は、誰しも感謝の涙を流すことなしには対することができません。

祖国防衛、人民防衛、革命防衛は人民軍の当然にして本然の任務ではありませんが、われわれの将兵はあまりにも多くの苦勞をしました。

われわれの将兵はあまりにも多くの仕事を受け持ち、多くの苦勞をしました。

それであまりにもすまなく、この栄光の夜を彼らと共にできないので心が痛みます。

今この瞬間にも、数多くのわが軍隊の将兵が栄光のこの金日成広場に来ることができず、国家の安全と人民の安寧を守って防疫最前線と災害復旧戦線で勇敢に闘っています。

われわれの軍隊はこのように、敵対勢力の軍事的威嚇だけでなく、防疫や自然との闘いのような突発的な脅威にも、国家防衛の主体としての自分の任務を立派に遂行しています。

わが国家と人民に対する彼らの熱烈な忠孝心に最大の敬意を表し、全軍のすべての将兵に熱い感謝を送ります。

また、自分たちに与えられた災害復旧建設の任務を完遂しても、愛するわが家がある平壤ではなく、進んでまた他の災害復旧地域に足を向けた愛国者たち、当然この席にいるべきわれわれの中核、私の最も頼もしい首都党員師団の戦闘員にも戦闘的鼓舞と感謝の挨拶を送ります。

そして、全国のすべての勤労者に戦闘的な挨拶と感謝を送ります。

自然の災難を振り払い、新しい村、新しい家にすみかを構えた世帯と全国の家庭に幸福と喜びだけが訪れることを祈ります。

われわれの子供たちにいつも美しい夢がもたらされることを願います。

この席を借りて、今この瞬間も悪性ウイルスによる病魔と闘っている全世界のすべての人々にあたたかい慰勞の念を表し、心から手を合わせて、心底すべての人の健康が守られ、幸福と笑いが守られること

を切に願います。

愛する南朝鮮の同胞たちにもこのあたたい気持ちと謹んで伝え、一日も早くこの保健危機が克服され、北と南が再び手を携える日が来ることを祈願します。

同志の皆さん！

今日われわれは、一意専心してもたらした価値ある成果と勤労の結実を抱いて10月の慶祝広場に集まりました。

われわれがここに来るまでの道程は本当に生易しいものではありませんでした。

厳しい闘いの連続であり、幾多の困難を乗り越えなければなりません。

過ぐるわが党の75星霜の全期間がそうでしたが、特に今年は、年初から一日一日、一步一步が、予期しなかった途方もない挑戦と障害により、実に厳しく、困難をきわめました。

われわれはそれらすべてを勇敢に克服し、誇らしく晴れ晴れとした気持ちで意義深いこの場に列しました。

世人が驚嘆するこの光景自体が、われわれを悩ませ、われわれの前に立ちちはだかっていたあらゆる災難が制圧され、われわれが掲げた正義の闘争目標が立派に達成されたことを示しています。

親愛なる同志の皆さん！

今日われわれは、わが党の75回目の誕生日を盛大に迎えています。

世界に、われわれのように自分の党の誕生日を全人民が喜びの祝日として、大慶の日として盛大に祝う国はないでしょう。

全国の心が熱く渦巻く、このように胸がおどりと、歓喜に満ちた夜、この席に立ってみると、全人民に何から話したらよいのか分かりません。

わが党が歩んできた栄光に満ちた75年の歴史を一つ一つ振り返るこの瞬間、今日この席に立てば何から話そうかとあれこれと考えてみましたが、真に人民に打ち明けたい心のうち、真情は「ありがとうございます！」の一言につきます。

何よりもまず、今日このように、みな、すべての人民が無病息災であることを本当にありがたく思います。

このことを必ず話したいと思っていま

た。

一人の悪性ウイルス被害者もなく、みな健康であって来て本当にありがとうございます。

世界を恐怖におとし置いている悪性の伝染病からこの国のすべての人をついに守り抜いたというこの事実、わが党が当然なすべきことであり、当然の成果と言うべきなのでしょうが、なぜか、守り抜いたというこの感激の喜びに目がかすみ、みなさんの健康な姿を見ると、「ありがとうございます」という言葉以外に言うべきことがありません。

世界が驚かざるを得ない今日のこの勝利は、わが人民自らもたらした偉大な勝利です。

わが党にとって一人一人の人民の生命は何よりも貴重であり、全人民が健在で、健康であってこそ、党もあり、国家もあり、この地のあらゆるものがあるのです。

ところが、この世界には、貴重なわが人民の生を脅かし、害しようとする不安定な要素があまりにもたくさんあります。

それで、年初から世界的な保健危機が到来し、周辺状況もよくないので、悩みも心配も大でありました。

しかし、わが人民は磐石のごとく踏みこたえて立ち上がり、党と国家が講じる措置を絶対的に支持して従い、自分たちの運命を頑強に守り抜いたばかりか、活気に満ちて厳しい苦難と試練を剛毅に乗り越えました。

互いに相手のことを心配し、相手のために思い、かばい合う心の美しい人民、このような人民が強い愛国心と自覚を持ち、互いに協力し合って暮らす社会主義でなかったなら、恐ろしい災難を防ぐことはできなかったでしょう。

すべての人民が進んで防疫の主体となって、国家と自分自身を守り、われわれの子どもたちを守るための闘いにこぞって決起したので、あらゆるものが不足し、立ち後れている国の防疫部門が立ち上がり、普通の国なら想像もできない防疫安定形勢を維持することができたのです。

まだ裕福に暮らせなくても、仲むつまじい大家庭をなし、ただ一人の悪性ウイルス被害者もなく、みな健康であることが、どんなにありがたく、力になるのか分かりま

せん。

国が置かれた困難な状況を深く理解し、自分の家のことのように引き受けるありがたい人民も、世界にわが人民しかいないでしょう。

今この惑星に、苛酷で長期的な制裁のため、あらゆるものが不足している状況のもとで、非常防疫も行き、ひどい自然災害も復旧しなければならぬという途方もない挑戦と困難に直面している国はわが国だけです。

これらの試練は言うまでもなく、わが国の各家庭、各公民にとって重荷となり、痛みとなっています。

しかし、かえって家事より国事を優先視し、国家が直面している困難が十であれ、百であれ共に立ち向かい、誠実な汗と努力によってこの国をしっかりと支えるありがたい愛国者が、ほかならぬわが人民なのです。

それで、わが党は、国情についてありのままに話せばいつも敢然として立ち上がる人民を信じ、人民に依拠してあらゆる国難を打開しているのです。

わが人民は常にわが党をありがたがっていましたが、本当に感謝の挨拶を受けべき主人は、ほかならぬ偉大なわが人民です。

わが人民は75星霜、ひたすらわが党に従い、聖なる革命偉業を、自分の血と汗を惜しみなくささげて守ってくれました。

最も困難で試練に満ちた革命の道を踏み分けてきたわが党が、この血のにじむ道程を勝利と栄光によって織りなすことができた主な秘訣は、ほかならぬわが人民が党を心から信頼し、従い、わが党の偉業を守ってくれたからです。

常に賢明な師となって知恵と英知、無限の力と勇気を与え、決死の覚悟で擁護し、誠意を尽くして支持し、党の構想と路線を輝かしい現実にくれた歴史の全能の創造者である偉大なわが人民をぬきにしては、わが党の栄光に輝く75年の歴史について一瞬たりとも考えることはできません。

党が大高揚を呼びかければチョンリマ(千里馬)を駆って呼応し、大建設の作戦を示せば速度戦をもって応え、党の決心を水火も辞せず無条件に実践する偉大

な人民が常にそばにいたがゆえに、わが党はいつも心強く、いかなる苦境にあってもこの地に奇跡の年輪を刻んでくることができたのです。私は、尽きせぬ忠孝心と不屈の闘志、誠実な努力によってあらゆる試練を乗り越え、偉大な10月の祝日を勝利の壇上に押し上げたわが人民の姿に、今後75年でなく、750年、7500年でも党に従い、守ってくれる天のごとき力を全身で感じています。

同志の皆さん！

天のようで海のようなわが人民のあまりにも厚い信頼を受けるだけで、ただの一度も満足に伝えることができず、本当に面目ありません。

私は、全人民の信頼を得て、金日成同志と金正日同志の偉業を継承して、この国を導いていく重責を担っていますが、まだ努力と真心が足りず、わが人民は生活上の困難を脱することができずにいます。

にもかかわらず、わが人民は常に私を信じ、私に絶対的な信頼を寄せており、私の選択と決心をすべて支持し、支えています。

例えば、それがより大きな苦勞を覚悟しなければならぬものであっても、私とわが党に対する人民の信頼は常に無条件的で確固不動のものとなっています。

このように強烈で、真心のこもった信頼と鼓舞激励は、私にとっていかなる名誉ともかえることができず、億万の富にも比べることのできない最も貴重な財産であり、恐怖と不可能を寄せ付けぬ無限の力です。

この世のなんびとも望むことのできない最上最大の信頼があったがゆえに、私は滅私奉仕の使命感と意志を固め、無数の挑戦に躊躇なく立ち向かうことができたのであり、戦争をも覚悟しなければならぬ決死の戦いにも臨むことができたのであり、史上初めての大自然にも強く対処することができたのです。

このような立派な人民に仕えて闘うことを無上の光栄に思います。

私は、わが人民の大いなる信頼を守る道で、たとえ全身が引き裂かれ、粉々になろうとも、その信頼だけは命をささげても無条件に守り、その信頼にあくまで忠実で

あることを今一度この場を借りて厳かに確言するものです。

尊敬する全国の人民と皆さん！

本当に、本当にありがとうございます。

金日成同志と金正日同志の心まで合わせて、全国の人民に敬虔な気持ちで、感謝に満ちる真心を丁寧にささげます。

同志の皆さん！

わが人民をしっかり守り、より高く押し上げ、何うらやむことのない生活を営ませるのは私とわが党の第一の使命であり、確固不動の意志です。

わが党はすでに、わが人民の尊厳であり生命である社会主義を固守し、わが人民が永遠に戦争を知らない地で子々孫々繁栄できるように、平和守護のための最強の軍事力を築き上げました。

威風堂堂と整列している今日の閲兵隊伍は、朝鮮労働党が自己の革命軍隊をいかに育成したかを、また、その軍隊の威力がいかに強いかを明確に示すでしょう。

わずか5年前、まさにこの場で行われた党創立70周年慶祝閲兵式と比べてみると、誰もがよく分かるでしょうが、われわれの軍事力の近代性は大きく変わり、その発展速度は誰もが容易に推しはかることができるでしょう。

われわれは、自分の党の革命思想で武装し、自分の革命の利益に全的に奉仕する忠実で、かつ強力な国防科学技術の大集団と軍需部門の労働者階級を有しています。

われわれの軍事力は、なんびとも侮ったり肩を並べることができないほど発展し、変貌を遂げました。

われわれが直面しているか、直面しうるいかなる軍事的脅威も十分統制し管理できる抑止力を保有しました。

われわれの軍事力は、われわれの方式、われわれの要求どおりに、われわれの時間表どおりに、その発展速度と質、量が変わっています。

わが党は、わが国家と人民の自主権と生存権を侵したり脅威を与えうる勢力を先制して制圧できる軍事的能力を最も確実で、かつ強固な国防力として規定し、それ

を実践しうる軍事力を保有することに全力を尽くしてきたし、今この瞬間にも不断の更新目標を達成しつつあります。

われわれは、敵対勢力によって持続的に増大する核の脅威を含むあらゆる危険な企図と威嚇的行動を抑止し、統制、管理するために、自衛的正当防衛手段としての戦争抑止力を引き続き強化していくでしょう。

国家の自主権と生存権を守り、地域の平和を守ることに寄与すべきわれわれの戦争抑止力が決して濫用されたり、絶対に先制して使われることはないでしょうが、万が一、いかなる勢力であれ、わが国家の安全を脅かしたら、われわれを標的にして軍事力を使用しようとしたら、私はわれわれの最も強力な攻撃的な力を先制して総動員して膺懲するでしょう。

私は決して、われわれの軍事力が誰かを標的にすることを望みません。

われわれは、誰かを標的にしてわれわれの戦争抑止力を培うものではないことを明らかにします。

それは、ただわれわれ自身を守るためです。

もし力がなければ、拳を振り上げても流れる涙と血を拭うしかありません。

わが党は、強力な軍事力によって国の主権と領土の確固たる安全を保障し、国家と人民の永遠なる安寧と平和、未来を守っていくでしょう。

同志の皆さん！

朝鮮労働党の革命思想で武装し、祖国と人民に忠孝を尽くし、わが人民の力と精神がこもった強力な最新兵器を装備した革命武力があるがゆえに、いかなる侵略勢力も絶対に神聖なわが国家を侮ることはできず、あえて朝鮮人民の行く手を阻むことはできません。

いま残っていることは、わが人民がこれ以上苦勞をせず、裕福で文化的な生活を思う存分享受できるようにすることです。

わが党は、人民の福祉を増進させ、より多くの恩恵を施すすぐれた政策と施策を変わることなく実施し、絶えず拡大していくであろうし、人民が夢にも描き見る復興・繁栄の理想社会の実現を最大限に早めていくでしょう。

これまでわが党は厳しい苦難の中で人民と運命を共にしながら、そしてわが人民の団結した力を体得する過程を通じて、今後われわれが何をなすべきかがよく分かりました。

朝鮮労働党第8回大会はその実現のための方策と具体的な目標を示すであろうし、人民の幸福をもたらすためのわが党の闘いは近く新しい段階へと移行するでしょう。

われわれが立ち上がるほどあらゆる反動勢力は一層狂奔し、予期しない困難に直面することもあるでしょうが、それはこれまでわれわれが経てきた試練に比べれば何でもなく、われわれにはそういったものをすべて粉碎できる力があり、自信があります。

長きにわたる闘争の道程で打ち固められた党と人民大衆の一心団結があり、われわれの社会主義が育て上げ、築き上げた人材の集団と自立の土台は、間違いなくわれわれの前進を促し、速める強力な力となるでしょう。

他人は経験していない無数の苦難と試練を乗り越えながら、他人は考えることもできないあらゆることを成し遂げたわが党と人民は、より大きな勇気と確信、ほとばしるような熱情と覚悟を持って新たな発展と繁栄に向けた進軍を開始するでしょう。

私は、すべての党組織と政府、政権機関、武力機関が、人民のために、人民によりよい明日をもたらすために尽力し、真心を尽くして仕事をするよう、要求の度合いをさらに強めて闘うようにします。

わが人民の理想は偉大であり、その理想が実現する日は必ず来ます。

偉大なその理想を実現することに総力を集中することによって、社会主義建設のより高い目標を達成する道で、誰もが体感できる革新と発展、実質的な変化をもたらすようにします。

同志の皆さん！われわれは強くなり、試練の中でいっそう強くなっています。

時間はわれわれの側にあります。

ともに、社会主義の輝かしい未来に向けて、新たな勝利を得るために力強く前進しましょう。終わりに、全人民が無病息災であってくれたことに対して今一度感謝の

挨拶をささげます。そして、変わることなくわが党に信頼を寄せてくれる真情に、心から感謝をささげます。

偉大なわが人民万歳！」

習近平中国共産党中央委員会総書記が金正恩朝鮮労働党委員長に祝電

2020年10月10日発『朝鮮中央通信』および同日11日付『人民日報』によれば、同日10日、習近平中国共産党中央委員会総書記が金正恩朝鮮労働党委員長に祝電を送った。祝電の内容は次の通り。

「私は謹んで中国共産党中央委員会を代表し、また私個人の名で委員長同志と委員長同志を通じて朝鮮労働党中央委員会と朝鮮労働党のすべての党员、朝鮮人民に熱烈な祝賀と祝福の言葉を送ります。

栄光に輝き、悠久な革命伝統を持っている朝鮮労働党は、去る75年間の輝かしい道程で朝鮮人民を結束させ、導いて勇敢に闘い、奮発して前進することによって、国の独立と人民の解放を実現し、社会主義偉業の遂行において偉大な成果を収めました。

近年、委員長同志を首班とする朝鮮労働党中央委員会のしっかりした指導の下、朝鮮の党と人民は社会主義の道に沿って確固不動に前進しながら、党建設と経済活動の強化に力を入れ、一心団結してあらゆる困難と挑戦に対処しており、対外交流と協力を積極的に繰り広げて一連の重要な成果を収めています。

われわれは、同志、友人として、これについて心から喜ばしく思います。

委員長同志を首班とする朝鮮労働党中央委員会のしっかりした指導の下、朝鮮の党と人民が引き続き奮発して頑強に闘うことによって、朝鮮の社会主義偉業を絶え間なく前進させ、立派な成果で朝鮮労働党第8回大会を勝利のうちに迎えることになると確信します。

中朝両国は、山と川が繋がっている親善的な隣邦であり、両国ともに共産党が導く社会主義国家です。

両党、両国の老世代指導者たちが自らもたらし、手間をかけて築いてきた伝統的な中朝親善は深い根を下ろし、歳月が流れるほどより強固になっており、またとなく貴

重なものになっています。

近年、私は委員長同志と数回にわたって対面して両党、両国の関係を強固にし、発展させることに対する一連の重要な共同認識を持ち、中朝関係の新たな歴史的ページを開きました。

こんにち、世界的に百年来の前例のない大変化が起き、新型コロナウイルスによる伝染病が重なっている中で、国際および地域情勢は複雑かつ深刻に変化しています。

われわれは、朝鮮の同志たちと共に中朝関係を立派に守り、立派に強固にし、立派に発展させて両国の社会主義偉業の長期的かつ安定的な発展を促すことで、両国と両国の人民にさらなる幸福を与え、地域の平和と安定、発展と繁栄の実現に新しく積極的な寄与をする用意があります。

委員長同志が健康で活動で成果を収めることを願います。

朝鮮労働党の絶え間ない発展と朝鮮の社会主義偉業の隆盛・繁栄を祈願します。」

開城市、黄海北道、黄海南道の被災地で新居入りの儀式

2020年10月10日発『朝鮮中央通信』によれば、開城市、銀波郡、新溪郡、平山郡、長豊郡、載寧郡をはじめ、黄海北道と黄海南道の被災地で新たに建設された住居の新居入りの儀式があり、住宅利用許可証が授与された。

平壤市軍民連合集会開催

2020年10月13日発『朝鮮中央通信』によれば、同日12日、「80日間戦闘」に邁進して朝鮮労働党第8回大会を誇らしい勝利で迎えるための平壤市軍民連合集会が、平壤市の金日成広場で行われた。

金徳訓内閣総理、朴奉珠國務委員会副委員長が、幹部席に登壇した。党と政府の幹部である金才竜、李日煥、崔輝、朴太徳、キム・イルチョル、任哲雄、金榮煥、李永吉、高人虎の各氏と委員会、省、中央機関、平壤市内の党、行政責任活動家、労働革新者が幹部席に姿を現した。金正官氏をはじめとする武力機関のメンバーが、幹部席についた。

集会には、委員会、省、中央機関、市・区域級機関、工場、企業、協同農場の活動家、勤労者をはじめとする平壤市民と朝鮮人民軍および社会安全軍の将兵が参加した。

朴奉珠副委員長が、報告を行った。朴奉珠副委員長は、党創立75周年を契機にして非常に高揚した革命的闘争の勢いを引き続き高調させて意義深い今年の年末の闘いを立派に締めくり、第8回党大会をより有意義に迎える上で「80日間戦闘」が持つ重要性と使命、歴史的意義について強調した。また、最高指導者金正恩党委員長の崇高な志によって、朝鮮労働党の歴史上、初めて党大会を控えて人民の生命安全と生活安定のためのことで一貫した「80日間戦闘」が行われることに言及した。そして、偉大な党のアピールに応じて「80日間戦闘」の炎を高く燃え上がらせて、第8回党大会を誇るに足る勝利で迎えるために力強く前進しようと熱烈に呼びかけた。

恵山キムチ工場が竣工

2020年10月13日付『朝鮮新報』電子版によれば、両江道で恵山キムチ工場が竣工した。

金正恩国務委員長が咸鏡南道検徳地区の災害復旧現場を現地で指導

2020年10月14日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩国務委員長が咸鏡南道検徳地区の災害復旧現場を現地で指導した。朴正天、李日煥、キム・ヨンス、趙甬元、玄松月、金明食の各氏が同行した。

金正恩委員長は、今行っている災害復旧建設は第1段階と定め、「80日間戦闘」の期間に総力をあげて質的に完工し、第2段階に第8回党大会で提示する5カ年計画期間に検徳鉱業連合企業所、大興青年英雄鉱山、龍陽鉱山に2万5000世帯の住宅を新たに建設する決心を披歴した。

金正恩委員長は、国家的に重視する政策対象を定めると、打算から先立たせて敗北主義に陥り、泣き言だけを並べ立てて奔走する国家計画機関に手を差し出さず、人民軍がセメント、鋼材、燃料油をはじめ建設資材もすべて受け持って、来

年から毎年5000世帯ずつ年次別に建設すると述べた。

金正恩国務委員長が咸鏡南道自然災害復旧建設場を視察、建設を指導

2020年10月15日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩国務委員長が咸鏡南道の新浦市と洪原郡をはじめ、東海地区の自然災害復旧建設場を視察して建設を指導した。朴正天、趙甬元、キム・ヨンス、玄松月、金明食の各氏が同行した。

復旧現場に派遣され活動中の「第1首都党員師団」の崔輝師団長、李英植第1副部長、シム・インソン平壤市党委員会組織副委員長と各級人民軍部隊の指揮官が現地で金正恩委員長を迎えた。

金正恩委員長は、工事期間に激しい社会主義競争熱風の中で互いに助けて導き、互いに虚心に習う集団主義的美風が強く発揮されていることがよい、自然災害復旧建設現場で追いつけ追い越せ・建設経験交換など、競争の旋風を強く巻き起こして連帯的革新が起きるようにすべきであると述べた。

金正恩委員長は、最近上がってきた報告によると江原道、咸鏡北道、咸鏡南道内の一部の単位で設計と建設工法の要求に違反して、建設を急場しのぎのようにでたらめにする意地悪くて破廉恥な建設法違反行為が提起されたが、厳しく問題視すると述べた。

三池淵市人民病院の開院式

2020年10月16日発『朝鮮中央通信』によれば、同月15日、三池淵市人民病院の開院式が行われた。朝鮮労働党中央委員会の李日煥副委員長、崔相建部長、オ・チュンボク保健相、両江道党委員会のリ・テイル委員長、関係者、病院の従業員、三池淵市民がこれに参加した。

李日煥副委員長は開院の辞で、三池淵市人民病院は最高指導者金正恩党委員長が金正日総書記の故郷で住み、働く三池淵市の人民が最も先進的な医療サービスを受けながら、健康な体で文化的な生活を享受するようにするために建ててくれた愛の贈り物であると述べた。

『労働新聞』、80日間戦闘に関する社説掲載

2020年10月16日付『労働新聞』は、「80日間戦闘」に邁進して革命の新たな高揚期を開いていこう」と題する社説を掲載した。

同社説は、「80日間戦闘」の主たる闘争目標は、優先的に国家非常防衛活動をより強化して防疫戦線を鉄桶のように堅持し、自然災害復旧作業を年末まで必ず完了し、今年の農業を立派に締めくり、来年の営農準備に力量を集中し、今年に計画された国家的な重要建設と国家経済発展5カ年戦略の遂行を年末まで最大限促進することである。われわれの領土、領空、領海を頼もしい防疫障壁で拔かりなく巡らし、災害復旧と農業の締めくりをはじめとするすべての課題を戦闘的に、責任をもって、より実質的にやり遂げて第8回党大会を盛大に迎えようということに「80日間戦闘」の基本目的がある、としている。

『労働新聞』、80日間戦闘における朝鮮労働党員の役割に関する社説掲載

2020年10月19日付『労働新聞』は、「80日間戦闘」で朝鮮労働党員の革命的気概と本領を力強くどろかそう」と題する社説を掲載した。同社説は、朝鮮労働党がこんにちの厳酷な試練の中で「80日間戦闘」の作戦図を広げて確信に満ちて導いているのは数百万の党員だけが奮発すれば不可能なことはないという信頼があるからだ」と指摘した。

咸鏡南道洪原郡の被災地で新居入りの儀式

2020年10月19日発『朝鮮中央通信』によれば、咸鏡南道洪原郡の雲浦労働者区、景浦労働者区の村で被災地における住宅建設が進んでいたが、新居入りの儀式が行われた。

第1首都党員師団師団長である朝鮮労働党中央委員会の崔輝副委員長、政治委員である党中央委員会宣伝扇動部の李英植第1副部長、咸鏡南道党委員会のリ・ジョンナム委員長、関係部門の活動家、第1首都党員師団の指揮官と戦闘員、洪原郡の活動家と勤労者、被災地

の住民がこれに参加した。

順川ナマズ工場にスポン養殖基地が竣工

2020年10月19日発『朝鮮中央通信』によれば、平安南道の順川ナマズ工場にスポン養殖基地が竣工した。同基地は、順川火力発電所の廃熱温水を利用してスポンを養殖しているとのことである。

習近平中国共産党中央委員会総書記が国家指導者らと中国人民革命軍事博物館参観

2020年10月19日発『新華社』によれば、中国人民志願軍抗美援朝出国作戦70周年にあたり、習近平中国共産党中央委員会総書記（国家主席、中央軍事委員会主席）は19日、李克強、栗戰書、汪洋、王沪寧、趙樂際、韓正、王岐山らと中国人民革命軍事博物館を訪れて「偉大な勝利を銘記し平和と正義を守る—中国人民志願軍抗美援朝出国作戦70周年記念特別展」を見学した。

同電によれば、習総書記は、「70年前、平和を守り、侵略に抵抗するため、中国共産党と中国政府は毅然として抗美援朝及び国家の防衛という歴史的決定を行った。英雄的な中国人民志願軍は正義の旗を高く掲げ、朝鮮の人民および軍と共に、死を恐れず血みどろになって奮戦し、抗美援朝戦争の偉大な勝利を勝ち取り、世界の平和と人類進歩の事業のために多大な貢献をした。抗美援朝戦争の勝利は正義の勝利であり、平和の勝利であり、人民の勝利であった。

抗美援朝戦争によって鍛造された偉大な抗美援朝精神は、非常に貴重な精神的財産であり、必ずやあらゆる艱難辛苦を克服し、あらゆる強大な敵に打ち勝つよう中国人民と中華民族を勇気づける。

中国人民志願軍の英雄的業績および革命精神を深く学び、宣伝し、党と新中国と改革開放と社会主義発展の歴史をしっかりと学んで、全党・全軍・全国各民族の人々に対して、党中央の周りにより緊密に団結し、最初の志と使命を胸に刻み、必勝の信念をゆるぎないものにし、小康社会（ややゆとりのある社会）の全面的完成、新時代における中国の特色ある社

会主義の偉大な勝利の奪取、中国の夢、軍強化の夢の実現のためにたゆまず奮闘し、世界平和の維持、人類運命共同体の構築推進のために一層の貢献をするよう促す必要がある」と強調した。

朝鮮式の6軸交流電気機関車を開発

2020年10月20日発『朝鮮中央通信』によれば、6軸交流電気機関車（おそらく、直流電源を利用して、三相誘導電動機を駆動する可変電圧可変周波数制御が可能なもの）を開発したとのことだ。

記事によれば、開発者らは、自らの力と技術でけん引変換装置、補助変換装置、非同期けん引電動機などの核心部分を研究、製作し、けん引力と速度を円滑に制御し、走行の安全性と信頼性を保障することのできるプログラムも完成し、急勾配と曲線など相異なる鉄道区間での試験運行を通じて、交流電気機関車の技術的特性が科学的に実証されたとのことだ。

これにより、出力が高く、けん引力と速度、制御性が優れた6軸交流電気機関車が朝鮮式に開発されて鉄道の輸送能力をいっそう高められる展望が開かれたとのことだ。

リンゴとナシの味評価のための大衆審査

2020年10月20日発『朝鮮中央通信』によれば、各地の果樹栽培農場で収穫したリンゴとナシの味評価のための大衆審査が20日、平壤で行われた。1、2部類に分かれて行われた大衆審査には、黄海南道クァイル郡と咸鏡南道北青郡の果樹栽培農場、高山果樹総合農場（江原道）、大同江果樹総合農場（平壤市）、徳城リンゴ農場（咸鏡南道）をはじめ、各地の果樹栽培農場で収穫されたいろいろな優良品種のリンゴとナシが出品された。大衆審査は、審査メンバーが品種別に味わって甘味と酸味、水分、香り、硬さを判定する方法で行われた。

金正恩党委員長が習近平総書記に答電

2020年10月20日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩朝鮮労働党委員長が、習近平中国共産党中央委員会総書記に

同月19日、答電を送った。

答電は、総書記同志が朝鮮労働党創立75周年に際して熱烈な祝賀と立派な祈りを送ってくれたことに朝鮮労働党と全朝鮮人民、そして私自身の名で心からの謝意を表した。

また、総書記同志と中国の党と人民の真情溢れる祝賀は意義深い党創立節を迎えた朝鮮労働党員と朝鮮人民に歓喜を増し、第8回党大会に向けたわれわれの闘いを力強く鼓舞していると指摘した。

そして、複雑多端な国際情勢と深刻な世界的保健危機の中でも、朝中両国で人民の生命安全が頼もしく守られ、社会主義建設が力強く繰り広げられているのは人民を最も重んじる朝鮮労働党と中国共産党のしっかりした指導があるからだとして強調した。

続けて、総書記同志と共に新しい活力期に入った伝統的な朝中親善関係を時代の要請に即していっそう強固にして発展させ、朝中親善の中核である社会主義の力強い前進のために積極的に努力すると指摘した。

さらに、中国人民が総書記同志を中核とする中国共産党の指導の下で、社会主義現代化国家を全面的に建設するための闘いで新たな勝利を収めると確信した。

答電は、総書記同志が健康で責任ある活動でさらなる成果があることを心から願った。

平安南道で青年野外劇場を新しく建設

2020年10月21日発『朝鮮中央通信』によれば、平安南道で、5000席の青年野外劇場が新しく建設され、青年野外劇場は、3階建ての建物と舞台、観覧席などからなっている。

中国から平壤市の友誼塔と平安南道檜倉郡の中国人民志願軍烈士陵园に花籠

2020年10月22日発『朝鮮中央通信』によれば、中国から平壤市の友誼塔と平安南道檜倉郡の中国人民志願軍烈士陵园に花籠が寄せられた。花籠の献花式が、21日に行われた。李進軍・駐朝中国大使、

大使館員、滞在中の中国客、華僑が献花式に参列した。

金正恩国務委員長が平安南道檜倉郡の中国人民志願軍烈士陵園を訪問

2020年10月22日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩国務委員長が中国人民志願軍烈士陵園を訪れて烈士たちに崇高な敬意を表した。朝鮮労働党中央委員会政治局常務委員会委員である崔龍海、李炳哲、金徳訓の各氏と朝鮮労働党中央委員会政治局員である朴正天、金才龍、李日煥、金衡俊の各氏が参列した。また、李善権外相、朝鮮人民軍の軍種司令官である金明食海軍大将、キム・グァンヒョク空軍大将、檜倉郡党委員会のリ・ヨン Chol 委員長、檜倉郡人民委員会のキム・イン Chol 委員長がこれに共に参列した。

同日、金正恩国務委員長は平壤市の友誼塔に花籠を送った。

植林、山林管理、保護への努力

2020年10月25日発『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮では、社会主義愛国林運動が活発に展開されており、各地で山林の造成と保護・管理活動が積極的に行われて、今年だけでも数多くの単位が社会主義愛国林称号を授かったとのことである。

江原道の被災地で入居儀式

2020年10月25日発『朝鮮中央通信』によれば、江原道の各被災地において同月23日、新しく建設された住宅への入居儀式が行われた。鉄原郡、平康郡、昌道郡、伊川郡、淮陽郡、板橋郡、金剛郡をはじめ、自然の大災難に見舞われた各被災地に810棟余りに1670世帯余りの低層住宅、平屋が建てられた。

労働新聞社説「中国人民志願軍烈士の偉勲は朝中親善の歴史とともに末永く輝く」

2020年10月25日付『労働新聞』は、中国人民志願軍の朝鮮戦線参戦70周年に際して社説を掲載した。同社説の主な内容は次の通り。

「中国人民志願軍の朝鮮戦線参戦は

一つの運命に結合された朝中両国人民の戦闘的友誼と同志的協力の明確な誇示であったと明らかにした。

また、朝中両国の革命家と人民は共同の偉業を志向し、その偉業のために同じ塹壕で血潮を流して闘争する過程に切り離しがたい関係につながるようになったとし、次のように指摘した。

朝中親善の歴史の節目ごとには、共同の偉業実現のための道で互いに手を取り合って緊密に協力してきた両国の先代領袖たちの同志的友誼の世界が歴々と刻み付けられている。

歴史のあらゆる挑戦と試練に打ち勝ちながら、しっかり固められた朝中親善はこんにち、最高指導者金正恩同志と習近平総書記同志との厚い親交によって、新しい時代の要請に即してより高い段階で昇華、発展している。

朝中親善を世界がうらやむ関係にいつそう発展させ、親善と団結の威力で社会主義偉業を活気に満ちて前進させていくというのは、朝鮮労働党と人民の確固たる意志である。

朝鮮労働党と朝鮮人民は、今後、いかなる風波と試練が押し寄せても、社会主義を守り、力強く前進させるための道でいつも中国の党と政府、人民と固く手を取り合って進み、時代の要請に即して朝中親善の全面的開花期を開くために引き続き努めるであろう。

朝鮮戦線に参戦して生命をささげた中国人民志願軍烈士たちの偉勲と崇高な精神、高潔な犠牲の精神は朝鮮人民の心の中に永遠に残っているであろうし、朝中親善の歴史とともに末永く輝くであろう」

南浦港コンテナ埠頭に45トンのクレーンが設置、試運転

2020年10月26日発『朝鮮中央通信』によれば、南浦港で従来よりも1.2倍の能力を持つ45トンコンテナクレーン（ガントリークレーン）が独自開発され、試運転に成功したとのことである。

非常防疫対策の徹底した実施

2020年10月27日発『朝鮮中央通信』は、非常防疫対策が徹底して講じられていることを報道している。中央非常防疫

部門では、日ごとに急速に悪化する世界保健危機の状況に対処して、各部門、各単位で自己満足と放心、無責任性と緩慢さを徹底的に警戒し、全人民的な自発的の一致性を保って防疫安全形勢をより確固と維持することに総力を集中しているとのことである。また、検査・検疫部門、科学技術部門、国境警備、医療部門、災害復旧の現場でも抜かりのない態勢が敷かれていることが報道されている。

習近平総書記が金正恩朝鮮労働党委員長に答電

2020年10月29日発『朝鮮中央通信』によれば、習近平中国共産党中央委員会総書記、中華人民共和国国家主席から金正恩朝鮮労働党委員長、朝鮮民主主義人民共和国国務委員会委員長に同月24日、答電が寄せられた。

答電の内容は、次のとおり。

「尊敬する委員長同志、

委員長同志が中華人民共和国創建71周年に際して真情と情熱に満ちる祝電を送ってくれたことに心からの謝意を表します。

新しい中国創建以降の71年間、中国共産党は全国の各民族の人民を結束させ、導いて一心同体となって刻苦奮闘しながら世界が注目することに値する偉大な成果を収めました。

今年に急に直面した新型コロナウイルス感染症に対処してわれわれは、人民重視、生命重視の原則を堅持しながら全国的な防疫闘争で重大な戦略的成果を収めました。

朝中両国は山と川がつながっている親善的な隣邦であり、両国の伝統的な親善は歳月が流れるほどよりしっかりとしています。

近年、私と委員長同志は密接で、深みのある意思疎通を維持しながら両党、両国の関係が新たな歴史的時期に入るように導きました。

こんにち、世界的に百年以来の前例のない大変化が急速に起きています。

われわれは、朝鮮同志たちと共に伝統的な中朝親善を代を継いで継承し、発展させ、両国と両国人民により立派な福利を与え、地域の平和と安定、発展を促す

用意があります。

先日、朝鮮人民は朝鮮労働党創立75周年を盛大に祝いました。

75年間、朝鮮労働党は朝鮮人民を結束させ、導いて社会主義建設偉業において大きな成果を収めました。

われわれは、委員長同志を首班とする朝鮮労働党中央委員会のしっかりした指導の下で朝鮮人民が新たな戦略的路線を貫徹し、必ず国家の発展と建設で豊富な成果を収めて朝鮮労働党第8回大会を勝利のうちに迎えると信じます。

委員長同志が健康で、万事がスムーズに運ばれることを祈願します。

朝鮮民主主義人民共和国の隆盛・繁栄と人民の幸福、安泰を願います。」

平壤トロリーバス工場で、数十台の新型トロリーバスを製作、運行に投入

2020年10月30日発『朝鮮中央通信』によれば、平壤トロリーバス工場で、数十台の新型トロリーバスを製作して市内の各トロリーバス事業所に送ったとのことである。

朝鮮体育大学の遠隔教育学部で初の卒業生

2020年10月30日発『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮体育大学の遠隔教育学部で初の卒業生が輩出したとのことである。キム・ジェフィ学部長によると、2017年4月から体育情報学科、体育心理学科、体育栄養学科、監督学科で、ほぼ80の科目の遠隔教育を行っており、現在400余人が遠隔教育を受けているとのことである。この学部では、遠隔教育の幅を広げ、質を高めるために最近、体育経営管理学科、大衆スポーツ学科を新たに設けたとのことである。

秋季国土管理総動員活動が活発に行われる

2020年10月31日発『朝鮮中央通信』によれば、秋季国土管理総動員活動が力強く繰り広げられているとのことである。特に、道路建設および技術改造、河川整理活動が積極的に推し進められており、慈江道と開城市で、短期間に道路の補修を成功裏に終えたほか、平壤市力浦区域では、平壤一元山観光道路の擁壁補

修に必要な資材を自前で解決して、1200平方メートルの擁壁工事を行ったとのことである。

平安南道の成川郡、平原郡、江原道の金化郡、咸鏡南道の金野郡で河川の整理を地形学的特性に即してしっかりと行ったほか、各地の人々が、街と村をきれいに整えており、平安南道と黄海南道では、数十カ所に及ぶ公園、遊園地の整備を日程計画通りに推し進めて成果を収めたとのことである。また、南浦市と黄海北道でも、河川に対する汚染防止対策を徹底的に立て、歴史遺跡を保護し、薬草畑を造成する活動が行われているとのことである。

金野江第2号発電所竣工式

2020年10月31日発『朝鮮中央通信』によれば、金野江第2号発電所の竣工式が同月30日、現地で行われ、咸鏡南道党委員会のリ・ジョンナム委員長、道人民委員会のキム・ボンヨン委員長、関係部門、金野郡の活動家、勤労者、発電所の従業員がこれに参加した。金野江第2号発電所の完工により、電力供給が増加して、郡内の各地方産業工場が増産できるようになり、住民の生活がより豊かになったほか、灌漑用水を十分にあげられるようになって、郡の農業発展を促し、発電所の貯水池に移動式囲い網養魚場も設けられて多くの実利を得るようになったとのことである。

金正恩国務委員長が、参戦老兵の霊前に花輪を送る

2020年10月31日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩国務委員長が、参戦老兵であるラ・ミンヒさん（共和国英雄）の死去に深い哀悼の意を表して同日、花輪を送った。

報道によれば、ラさんは、「朝鮮労働党の歴史で最も厳しかった時期である1958年2月、反党・反革命分派分子らの陰謀策動を適時に摘発、粉碎することに貢献して領袖決死擁護の聖なる道に誇り高い偉勲を立てた」とのことである。

金徳訓内閣総理が人民経済の複数の部門を視察

2020年11月1日発『朝鮮中央通信』によれば、金徳訓内閣総理が、人民経済の複数の部門を視察した。金徳訓総理は、黄海南道白川郡、延安郡、青丹郡の複数の協同農場を見て回りながら、農業勤労者を鼓舞するとともに、各農場の脱穀状況を具体的に調べ、脱穀機のフル稼働を保障して脱穀を適時に終え、堆肥の源泉をより多く確保し、秋耕を適期に質的に行うことを強調したとのことである。

現地での各協議会では、今年の農作業を立派に締めくくり、来年の農作業準備を着実にするとともに、農場員の生活向上と農産作業の機械化比重を高める上で提起される問題を討議したとのことである。

金徳訓総理はまた、南浦市の千里馬製鋼連合企業所の生産状況を調べながら、活動家と技術者が超高電力電気炉の溶解時間を短縮し、溶解一回当たりの溶鉄量を増やせる合理的な作業方法を探究、導入して増産突撃戦を促すことについて述べたとのことである。金徳訓総理は、延白製塩所（黄海南道）を視察し、金正淑平壤紡織工場の生産状況と金星トラクター工場（南浦市）の改修・近代化状況を調べたとのことである。

労働新聞社説「出版・報道活動に新しい転換をもたらそう」

2020年11月1日付『労働新聞』は、同紙の創刊75周年に際し、朝鮮労働党の歴史、主体的な報道出版物建設の歴史と一つにつながっていると社説を掲載した。社説の内容は次の通り。

「革命発展の各時期、各段階に朝鮮労働党の報道出版物は、党の思想と指導を実現する上でいつも立派な教育者、大胆な宣伝者、忠実な代弁者であったし、チュチェ朝鮮の発展行路を目覚ましい奇跡と変革でつづっていく上で先導的役割を果たした。

特に、1990年代に社会主義を建設していた一部の国々で報道出版物が党と体制を転覆し、資本主義を復帰することの先頭に立っている時に、党と領袖、革命を決死の覚悟で防衛し、赤旗精神、赤旗哲学で惑星全体を震撼させたのはた

だ、朝鮮労働党の報道出版物だけであつた。

歴史の強風の中でも、いささかの憂心も、いささかの動揺もなく社会主義建設を力強く促し、全社会の金日成・金正日主義化偉業を力強く先導する上で特出した功績を積み上げたのは、朝鮮労働党の報道出版物の大きな自負、誇りである。

時代と革命は絶えず前進、発展し、報道出版物の重要性と意義は日増しに浮き彫りになっている。

すべての記者、言論人は、朝鮮労働党の思想的旗手、進撃のラッパ手としての使命と本分を再び胸に刻み付けて思想戦の集中砲火、連続砲火、命中砲火を浴びせることで、こんにちの「80日間戦闘」の勝利を収めることに積極的に寄与すべきである。

こんにち、われわれの記者、言論人に対する党の信頼と期待はとて大きい。

すべての記者、言論人は、党が与えた革命の筆鋒をしっかりと握って出版・報道活動に新しい転換をもたらし、第8回党大会に向けた革命的進軍を力強く鼓舞、激励すべきである。」

模範技術革新単位称号獲得運動

2020年11月2日発『朝鮮中央通信』によれば、模範技術革新単位称号獲得運動が活発に展開されており、朝鮮科学技術総連盟中央委員会の資料によると、2015年から現在まで全国的に1050余の単位が模範技術革新単位称号を獲得したとのことである。

育児院、愛育園で防疫活動を強化

2020年11月3日発『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮の育児院、愛育園で非常防疫活動の度合いをいっそう強めているとのことである。

児童・園児の年齢心理的特性に適合したより新しい消毒方法を採り出して、合理的な措置を即時に伴わせており、常に疑い、悩みながら2重、3重の防疫対策を厳格に立て、自らの消毒水生産土台に基づいて、保育室と教育室、運動室、知能遊戯室、治療室などに対する換気と消毒を規定通りに行う一方、児童・園児の生活に利用される各種の設備と備品の消毒も

徹底的に行っているとのことである。

保育員、教養員、医師が時々刻々、児童・園児の健康状態を観察しながら、いささかの兆候もおろそかにせず、病気の検査と検診を几帳面に行うとともに、栄養と睡眠時間、屋外運動を十分にさせることにも力を入れているとのことである。

労働新聞社説「治山治水活動を力強く繰り広げて祖国の山河を住みよい人民の楽園につくろう」

2020年11月4日付『労働新聞』は、「治山治水活動を力強く繰り広げて祖国の山河を住みよい人民の楽園につくろう」と題する社説を掲載した。山に木を多く植え、河川の整理をよくしてこそ、土地をはじめ国土を保護し、人民の生命と財産も安全に守り、祖国の山河をより美しく豊饒に転変させることができると主張した。

朝鮮最高人民会議常任委員会第14期第11回総会

2020年11月5日発『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議常任委員会第14期第11回総会が4日、平壤の万寿台議事堂で行われた。

最高人民会議常任委員会の崔龍海委員長が、総会を司会した。

総会には、最高人民会議常任委員会の副委員長である太亨徹、朴容日の両氏、高吉先書記長をはじめとする最高人民会議常任委員会の委員が参加した。

総会には、議案として「朝鮮民主主義人民共和国禁煙法を採択することについて」と「朝鮮民主主義人民共和国企業所法を修正、補足することについて」が上程された。

最高人民会議法制委員会で審議された朝鮮民主主義人民共和国禁煙法と企業所法の修正、補足案の基本内容に対する解説があった。

31の条文で構成された禁煙法には、国家禁煙政策の要求に即してタバコの生産および販売、喫煙に対する法的・社会的統制を強化して人民の生命と健康を保護し、より文化的な生活環境を整える上で全ての機関、団体、公民が守るべき準則が規制されている。

政治・思想教育の場所、劇場、映画館のような公共の場、幼児の保育・教育機関、教育機関、医療保健施設、商業、給養・便益サービス施設、公共運輸手段をはじめ、禁煙の場所と単位が制定され、喫煙秩序に違反した行為に対する当該の処罰内容などが明らかになっている。

企業所法修正、補足案には、企業所を省力型、省エネ型、コスト節約型、敷地節約型に転換させ、従業員が節約精神を体質化した愛国的な勤労者になるようにすることに関する内容が新しく明示された。

これとともに、全ての単位で企業を新しく組織したり、所属が変動する時に守るべき問題、国家の統一的指導と戦略的管理の下で生産と経営活動を徹底的に社会主義原則に即して行うことに関する問題が反映された。

総会では、上程された議案に対する深みのある研究と意見交換があった。

総会では、最高人民会議常任委員会の政令「朝鮮民主主義人民共和国禁煙法を採択することについて」と「朝鮮民主主義人民共和国企業所法を修正、補足することについて」が全会一致で採択された。

文川軍民発電所が竣工

2020年11月6日発『朝鮮中央通信』によれば、電力と文川市に飲料水と灌漑・工業用水を供給する文川軍民発電所の竣工式が同月6日、現地で行われた。江原道党委員会の朴正男委員長、道人民委員会の蔡日龍委員長、関係部門、文川市の活動家、勤労者、建設者、発電所の従業員が、これに参加した。

金策市、利原郡の各被災地で新居入り

2020年11月7日発『朝鮮中央通信』によれば、咸鏡北道金策市の春洞里、銀湖里、石湖里、咸鏡南道利原郡学士台里の各被災地に首都党員師団が建設した新しい住宅の入居儀式が行われた。

朴奉珠党副委員長が金星トラクター工場と平川部材工場を視察

2020年11月7日発『朝鮮中央通信』に

よれば、朴奉珠国務委員会副委員長が、南浦市の金星トラクター工場と平壤市平川区域の平川部材工場を視察した。

朴奉珠副委員長は、金星トラクター工場の改修・近代化状況を調べ、建設資材の国産化の割合を高めるとともに工事の速度と質を共に保障し、園林緑化活動も同時に推し進めることについて強調した。

平川部材工場で朴奉珠副委員長は、活動家と労働者、技術者が建設の工業化、近代化の実現において担っている任務の重要性を銘記して設備の正常稼働のための技術的対策を徹底的に立て、各種の部材を質的に生産することについて言及した。

現地での各協議会では、トラクターの性能を高めるための技術改造を推し進め、生産の工程を改善、完備し、部材の生産を活性化する上で提起される対策的問題が討議された。

年間果物生産計画を超過完遂

2020年11月7日発『朝鮮中央通信』によれば、果樹栽培部門で、年間果物生産計画を超過完遂したとのことである。

農業省では、例年に比べて日照率が低く、雨がしばしば降るなど、不利な天気が続いたことに即して果樹の受精率と結実率を高め、1個当たりの質量を増やすための技術的指導を強化したとのことである。

江原道の高山果樹総合農場では、不利な天気の条件に応じた果樹の生育変化を正確に観察し、当該の技術的対策を実質的に立てて病害虫による被害を防ぎ、果物の味と質を改善し、黄海南道クァイル郡内の各果樹栽培農場では、自前で生産したリン酸肥料を果樹の生育状態に即して施して、ヘクタール当たりの果物生産量を増やしたとのことである。各地の果樹栽培農場でも、先進営農技術と営農方法を積極的に導入して、味のよい果物がかつてよりはるかに多く生産したとのことである。

金属工業部門が鉄鋼材の生産で連日革新

2020年11月7日発『朝鮮中央通信』によれば、南浦市の千里馬製鋼連合企業所では、シフト別、作業班別の競争熱風

を巻き起こして溶解一回当たりの出鋼時間をはるかに減らして溶鉄生産量を増やしているとのことである。

咸鏡北道清津市の金策製鉄連合企業所の活動家と技術者、労働者が価値ある技術革新案と合理的な作業方法を積極的に取り入れて「80日間戦闘」が始まって20余日間に鉄鉄と鋼鉄生産計画を各々120%、101%に超過遂行し、黄海南道松林市の黄海製鉄連合企業所では、日別生産目標遂行のための突撃戦で生産量を増やしており、原料、資材の国産化の実現も積極的に進めており、各鉱山では、毎日の生産課題を超過遂行しており、鋼鉄部門に適時に送るために運輸機材の稼働率を最大に高めているとのことである。

金徳訓総理が人民経済の複数の単位を視察

2020年11月8日発『朝鮮中央通信』によれば、金徳訓内閣総理が、平安南道の順川火力発電所と南興青年化学連合企業所、清川江一平南灌漑水路建設場を視察した。

金徳訓総理は、タービン職場と統合電力生産指令室などを見て回りながら、電力生産を増やすための方途的問題を討議し、対策を立てたし、活動家が社会主義経済管理の原則と社会主義企業責任管理の要求に即して経営活動を綿密に行うことに言及した。

金徳訓総理は、南興青年化学連合企業所のガス発生炉とコンプレッサー職場で設備を徹底的に技術規定と標準操作法の要求通りに管理、運営するとともに、設備の補修周期を正確に守って肥料を円滑に生産、供給することについて強調した。

清川江一平南灌漑水路建設場で金徳訓総理は、朝鮮労働党の農村水利化政策の貫徹において水路建設の重要性を銘記し、水路トンネルの仕上げ工事を促し、ダムの水門据え付け工事を早いうちに締めくくられるように資材の供給を先行させることに言及した。

現地で行われた各協議会では、電力、化学工業部門の活動家と科学者、技術者が設備と原料、資材の国産化、リサイクルリングを実現して生産を正常化するため

の科学技術的対策を立てることを強調し、水路工事を質的に完工する上で提起される問題を討議した。

労働新聞社説「自力更生大進軍によって「80日間戦闘」で赫々たる成果を収めよう」

2020年11月9日付『労働新聞』は「自力更生大進軍によって「80日間戦闘」で赫々たる成果を収めよう」と題する社説で、自力更生の革命精神は朝鮮労働党が掲げた「80日間戦闘」の闘争目標を成功裏に達成できるようにする実際の力であり、推進力であると主張した。同社説は、革命の前進、発展の原動力はいかなる外部的要因にあるのではなく、主体的力にあるとし、次のように指摘した。

「朝鮮労働党が「80日間戦闘」を繰り返すことを決心して力に余る課題を提示したのは、いかなる目標も十分に遂行できる能力と自信があるからである。

われわれには、年代と世紀をまたいできたむごい封鎖と圧迫の中で、史上初めての災難と災害の中でより強固になった党と大衆の一心団結があり、試練と難関を自力で打開していく過程にさらに湧き上がった英知と知恵、朝鮮式の闘争方略がある。「80日間戦闘」に進入して収めた初の20余日間の成果が実証している。鋼鉄のような防疫システムと秩序が確固と堅持され、災害復旧建設に人的・物的潜在力が総動員されている中でも、金属、化学、電力、石炭、機械工業と鉄道運輸部門が前例のない革新を起こし、建設・建材工業と林業部門の傘下単位でも増産運動の炎が強く燃え上がっており、紡織工業部門では国家経済発展5カ年戦略の目標を完遂した数百人の労働革新者が輩出した。

これら全ての成果は、試練に屈服せず、自分の力、自分の資源に頼って正面から切り抜ける果敢な攻撃戦を繰り返していきなり、不可能なことはないということをはっきり示している。

わが人民の自強力、わが国家の潜在力は試練が増大するほどさらに恐ろしく爆発する強大無比の力であり、こんにちの「80日間戦闘」は世界を驚かすもう一つの偉大な勝利として立派に締めくくられるであろう。」。

端川市に540世帯の平屋を建設

2020年11月11日発『朝鮮中央通信』によれば、咸鏡南道端川市大興1洞から舞鶴洞に至る地域で、軍人建設者たちが540世帯の平屋を立派に建設する成果を収めたとのことである。平屋を山間地域の風致にマッチしながらも、人民の意思と要求に即して便利で遜色のないものに完工するために、施工の全ての工程作業を几帳面に行い、地域に多い原料を持ってつくった土硬化剤で道路舗装工事を短期間に終えて、新しい住宅区域の面貌を一新させたとのことである。

朴奉珠党副委員長が平安北道内の複数の単位を視察

2020年11月12日発『朝鮮中央通信』によれば、朴奉珠国務委員会副委員長が、平安北道内の複数の単位を視察した。

朴奉珠副委員長は、新義州化学繊維工場に新しく建てられた生産および公共施設と複数の工程を見て回りながら、設備の近代化を高い水準で実現し、原料の加工と運搬において提起される問題を円滑に解決することについて述べた。

現地での協議会では、工場の改修・近代化工事に必要な資材と設備供給対策を徹底的に立て、提起される科学研究活動を積極的に後押しするための手配があった。

朴奉珠副委員長は、新義州紡織工場でリサイクル状況を調べ、労働者の生活と便宜を図る活動をよく行うことについて強調し、建設中の体育館などを見て回った。洪建島干拓地第2段階の建設場で朴奉珠副委員長は、最終段階で進捗している排水門の工事を促して完工の日を早めることについて強調した。

また、朴奉珠副委員長は東茨江貯水池の工事と郭山郡の今年の農業状況を調べた。

金化郡の邑と複数の里の被災地で新居入りの儀式

2020年11月12日発『朝鮮中央通信』によれば、自然災害に見舞われた江原道の金化郡で、朝鮮人民軍軍人たちが建設した住宅が金化郡の邑と初西里、ヨンソン里をはじめとする17の里、労働者区で

完成し、同月11日に入居の儀式が行われた。

江原道党委員会の朴正男委員長、朝鮮労働党中央委員会の李英来部長、江原道人民委員会の蔡日龍委員長、関係者、郡内の勤労者、軍人建設者がこれに参加した。

製品の質向上と2月2日製品

2020年11月12日発『朝鮮中央通信』によれば、北朝鮮の工場、企業では、製品の質向上のための活動が推し進められている。1981年2月2日、金日成主席は製品の質を高め、品質監督業務を改善、強化すべきだと教えた。その後から、品質の優れた製品を2月2日製品に登録しているとのことである。

平壤市の品質監督局では、今年に入って現在まで40単位で生産する200余種の製品を2月2日製品に登録した。平壤市の万景台愛国アルミサッシ工場、平壤金属建材工場で質の向上を一貫して堅持し、金正淑平壤製糸工場をはじめとする各工場で生産する絹織物布団、小学校男子生徒服とかばん、開城高麗人参美顔水、開城高麗人参練り歯磨きなどは、使用者がえり好みする製品であり、平壤穀物加工工場をはじめとする各食品工場で生産されるイチゴあめ、ポテトチップス、ノリ煮付け、栄養液汁など、おいしくて栄養価の高い食品もその質が優れているとのことである。

また、この期間に平壤大聖宝石加工工場、平壤市の下堂銀河被服工場、黄海南道殷栗郡の金山浦塩辛加工工場、咸鏡南道の咸興戦傷栄誉軍人樹脂日用品工場など、数十の単位のほぼ200の生産工程が品質管理システム認証、食品安全管理システム認証、製品認証、医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準認証を受けた。

野生動物に対する疫学的監視を強化

2020年11月12日発『朝鮮中央通信』によれば、国家科学院動物学研究所では、悪性ウイルス感染症の発生初期から検査グループを組んで国の津々浦々で研究活動を繰り広げており、各地に派遣された検査グループのメンバーは、動物に対する

疫学的監視を行う一方、死んだ動物の検体を収集してその原因を徹底的に突き止めているとのことである。また、獣はもちろん、死んだ昆虫も漏らさず検体を全て採取したし、それに対する科学的な検査を行って死んだ原因を解明しており、特に、コウモリをはじめとする野生動物に対する疫学的監視と研究により大きな力を入れているとのことである。

崔龍海委員長が甌山郡の農業と治山治水実態を視察

2020年11月14日発『朝鮮中央通信』によれば、崔龍海朝鮮民主主義人民共和国国務委員会第1副委員長、最高人民会議常任委員会委員長が、平安南道甌山郡の農業実態と治山治水活動状況を視察した。

農業部門を正面突破戦の主要攻略部門に定めた朝鮮労働党の意を高い穀物の生産成果で支えていくという一念を抱いて、甌山郡の青山里と豊井里の農業労働者は不利な気象気候条件の下でも一年中誠実な努力で豊穡の秋をもたらし、崔龍海委員長は両里の農業実態を調べ、当面の脱穀を最短期間に終えるための活動を責任をもって行って朝鮮労働党第8回大会を多収穫の誇らしい成果で迎えることを強調したとのことである。

同郡で海岸地域の自然地理的特性に即して祥原ポプラのように早く育つ木で防風林をよく造成し、河川の整理、浚渫を計画的に行うことなど党の治山治水政策を貫徹するための方途的問題に言及した。崔龍海委員長は、郡山林経営所母体育苗場を見て回りながら苗木栽培の科学化、工業化、集約化の水準を高めるための対策を講じた。

三池淵市の10余の洞、里に数千世帯の住宅が立派に建設される

2020年11月14日発『朝鮮中央通信』によれば、両江道三池淵市で、朝鮮人民軍216師団によって三池淵市の10余りの洞、里に数千世帯の新しい文化住宅が建設された。

住宅入居の儀式が同月11日から13日まで白頭山密営洞、新茂成洞、鯉明水洞、胞胎洞、5号ムルトン洞、中興里、興溪水

里、小白山里、ベクサム里、普西里、トンシン里で行われた。

董正浩内閣副総理、朴勲建設・建材工業相、朝鮮労働党中央委員会のパク・ソンチョル副部長、三池淵市内の活動家と勤労者、216師団の指揮官、突撃隊員、軍人建設者が同儀式に参加した。

労働新聞が社説「必勝の信念と楽観を抱いて総進軍速度をいっそう高めよう」を掲載

2020年11月15日付『労働新聞』は、社説「必勝の信念と楽観を抱いて総進軍速度をいっそう高めよう」を掲載した。同社説は、全ての活動家と党員と勤労者は朝鮮労働党第8回大会を勝利者の大会、栄光の大会として迎えるための総進軍にさらなる拍車をかけなければならないと強調しつつ、強国の夢を実現するための道でこんにちの「80日間戦闘」は、必ず行わなければならない戦闘、必ず勝利をもたらさなければならない戦闘である。80日間強行軍のつぼの中で鋼鉄のように鍛えられ、強くなった信念と意志を抱いてわが人民は、第8回党大会が示すことになる雄大な青写真に従って疾風怒濤のごとく前進するであろうとアピールした。

金徳訓総理が大安重機連合企業所とミンドゥレ・ノート工場を視察

2020年11月16日発『朝鮮中央通信』によれば、金徳訓内閣総理が、南浦市の大安重機連合企業所と平壤市のミンドゥレ(タンポポ)・ノート工場を視察した。

大安(重機連合企業所)の労働者たちを訪れた金徳訓総理は、「80日間戦闘」の炎を高く掲げて特注設備を期限前に生産するために猛烈な突撃戦を繰り広げている彼らを励ました。発電設備第1加工職場と発電機コイル職場、大型機械職場などを見て回りながら、生産実践に能率的なジグ装備と新しい技術革新案を積極的に創案、導入し、製品の加工および組み立ての課題を責任を持って遂行することについて強調した。

金徳訓総理は、朝鮮労働党の次代愛がもっているミンドゥレ・ノート工場で生産を正常化することが持つ重要性に言及し、リサイクルに主な力を入れて遊休資材

を積極的に探求、利用するための方途的問題を討議した。

現地で行われた各協議会では、企業戦略、経営戦略を正しく立て、計画された特注設備の生産を最短期間内に早めて終え、良質のノート生産に必要な原材料を円滑に保障するための対策が講じられた。

朝鮮労働党中央委第7期第20回政治局拡大会議開催

2020年11月16日発『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮労働党中央委員会第7期第20回政治局拡大会議が同月15日、党中央委員会の本部庁舎で招集された。

金正恩朝鮮労働党委員長が会議に参加した。

政治局拡大会議には、朝鮮労働党中央委員会政治局常務委員会委員と党中央委員会政治局委員、委員候補が参加した。また、党中央委員会の当該部署の活動家と各道党委員長、社会安全相と中央検察所長、国家非常防疫部門のメンバーがテレビ会議システムで傍聴した。

党中央委員会政治局の委任によって最高指導者金正恩党委員長が会議を司会した。

朝鮮労働党中央委員会第7期第20回政治局拡大会議では、世界的な保健危機が引き続き悪化する状況に備えて国家非常防疫システムをさらに補強することに関する問題が深く討議された。

金正恩委員長は会議で、最近、世界的な悪性ウイルス拡大状況の深刻さと国家防疫実態について詳細に分析、評価し、「80日間戦闘」の基本戦線である非常防疫戦線をいっそう鉄桶のごとく強化するための党的・軍事的・経済的課題と方途について明らかにし、国家の安全と人民の安泰に対して担った責任の重大さを自覚して超緊張状態を引き続き堅持し、完璧な封鎖障壁を構築して非常防疫戦をより強力に繰り広げていくことについて強調した。

党中央委員会政治局拡大会議ではまた、教育機関と社会全般で現れている非社会主義的行為について分析した資料が通報され、これを決定的に根絶するための問題が深刻に論議された。

会議では、重大な形態の犯罪行為を働いた平壤医科大学の党委員会とこれに対する党の指導と申告の処理、法的監視と統制を強化しなかったことで犯罪を庇護、黙認、助長させた党中央委員会の当該部署、司法・検察、安全・保衛機関の無責任感と激甚な職務怠慢行為に対して辛辣に批判された。

政治局拡大会議では、各級党組織を再度覚醒させて反党的・反人民的・反社会主義的行為を根絶するための全党的な闘争をさらに強力に繰り広げなければならないということについて指摘されたし、特に法機関で法的闘争の度合いを強めて社会・政治・経済・道徳生活の全般で社会主義的美風が徹底的に固守されるようにすることに関する問題が強調された。

党中央委員会政治局は、上程された議案を深く研究、討議し、重要な課題を提示しながら当該の決定を全会一致で採択した。

3大革命赤旗獲得運動45周年

2020年11月18日発『朝鮮中央通信』によれば、金正日総書記が1975年11月18日、「思想も、技術も、文化もチュチュの要求通りに！」というスローガンを打ち出して3大革命赤旗獲得運動を發起してから45年が経過した。社会主義建設を促す威力ある大衆運動となってきた3大革命赤旗獲得運動は、最高指導者金正恩党委員長の指導の下に確固と継承され、いっそう深化、発展したとのことである。

新しい教育方法を研究、導入

2020年11月20日発『朝鮮中央通信』によれば、教育研究院で、新しくて実利のある教育方法を創造するための活動を活発に繰り広げて成果を収めているそうである。同研究院の活動家と研究者は、非常防疫活動が長期性を帯びることに即して普通教育部門の生徒が案内授業と自習で自学能力、探究能力、応用能力を培うようにすることに重点を置いて研究を深め、平壤市内の複数の小学校、初級・高級中学校との連携の下で家庭でコンピュータとテレビを通じて教育綱領を実行することのできる案内授業編集物を制作して実践に導入したとのことである。

最精鋭首都党員師団が平壤に帰還、首都市民が熱烈に歓迎視察

2020年11月21日発『朝鮮中央通信』によれば、咸鏡南・北道の最も困難な災害復旧現場で英雄神話を生み出して誇るに足る勝利の砲声を上げた最精鋭首都党員師団の戦闘員が20日、懐かしい平壤に帰還した。

偉大な党中央に送る忠誠の報告、誇るべき勝利の報告をもって平壤へ向かって出発する首都党員師団の戦闘員を咸鏡南・北道の党、政権機関の活動家と勤労者が温かく見送った。

勝利の凱歌高らかに帰ってくる愛国者、朝鮮労働党の中核を乗せた列車が、平壤駅に到着した。

朝鮮労働党中央委員会の朴太徳、金英哲の両副委員長、平壤市党委員会の金栄欽委員長、党中央委員会の幹部、市内の活動家が最精鋭首都党員師団を温かく出迎えた。

同日、錦繡山太陽宮殿で、金日成主席と金正日総書記にささげる首都党員師団戦闘員の忠誠の報告の集いが行われた。

朝鮮民主主義人民共和国国務委員会副委員長である朝鮮労働党中央委員会の朴奉珠副委員長と平壤市党委員会の金栄欽委員長、首都党員師団の指揮メンバー、模範的な戦闘員、平壤市内の党、行政責任活動家が幹部席に姿を現した。

主席と総書記にささげる忠誠の報告を朝鮮労働党中央委員会副委員長である第1首都党員師団の崔輝師団長が行った。

朝鮮民主主義人民共和国国務委員会副委員長である朝鮮労働党中央委員会の朴奉珠副委員長が、祝賀演説を行った。朴奉珠副委員長は、最高指導者金正恩党委員長の委任によって党中央委員会の名で最精鋭首都党員師団の榮譽を宣揚して錦繡山太陽宮殿に駆けつけ、主席と総書記に勝利の報告、忠誠の報告をささげた全ての戦闘員を熱烈に祝った。

また、首都党員師団の戦闘員は栄光に輝く党の歴史にはっきりした一ページを誇らかに記してわが党員が党中央をいかにかに決死擁護すべきかを実践の模範で見せた前衛闘士であり、凱旋英雄であると

強調し、全ての戦闘員が受け持った革命の持ち場で継続革新、継続前進の気概を力強く宣揚することで、第8回党大会に向けた革命的進軍で党中央が最も信じる首都党員の榮譽をいっそう輝かしていくことを呼びかけた。

報告の集いでは、最高指導者金正恩党委員長に送る誓書が採択された。

咸鏡北道漁郎郡、咸鏡南道虚川郡で入居の儀式

2020年11月23日発『朝鮮中央通信』によれば、水害被害が最もひどかった咸鏡北道漁郎郡龍坪里と咸鏡南道虚川郡新洪労働者区で、最精鋭首都党員師団によって建設された住宅の入居の儀式が行われた。咸鏡北道と咸鏡南道内の活動家と被災地の住民がこれに参加した。

労働新聞社説「来年の営農準備を抜かりなく整えよう」

2020年11月23日付『労働新聞』は社説「来年の営農準備を抜かりなく整えよう」を掲載した。同社説は、農業部門の活動家と勤労者が来年の営農準備にこぞって立ち上がり、農業生産を増やせる確固たる展望を開かなければならないと主張した。同社説は、朝鮮労働党が提示した農業発展の5大要素をとらえて営農準備を力強く進めなければならぬとし、次のように強調した。朝鮮労働党の種子革命方針を体して、自分の単位の地帯的特性に合う優良品種を積極的に取り入れるための活動に優先的な力を入れなければならない。農業部門では、地力を高めなくてはいくらよい種子と先進営農方法を取り入れても効果を現すことができないということを銘記して、より多くの堆肥を生産することに力量を集中しなければならない。営農準備をよく整える上で、水の確保もとても重要である。これとともに、流失した農地を還元復旧する活動も一日も早く終えなければならない。農作業の機械化比重を高める活動は、時代と発展する現実の要求に即して農業生産を飛躍的に増やすための重要な問題である。皆が来年の穀物生産目標の達成のための突破口を開いて、朝鮮労働党第8回大会を意義深く迎えようとアピールした。

新義州紡織工場労働者寮の竣工式開催

2020年11月26日発『朝鮮中央通信』によれば、新義州紡織工場労働者寮の竣工式が、25日に行われた。平安北道党委員会の文景德委員長と工場の活動家、従業員がこれに参加した。

咸鏡南道の検徳地区に社会主義理想郷の村を建設

2020年11月27日発『朝鮮中央通信』によれば、咸鏡南道の検徳地区では、水害で全てが泥水に浸り、土砂に埋もれて家さえ自分の家がどこにあったのかも分からないひどい災害の痕跡が歴々としていたが、近代的な文化住宅があちこちに立ち上がった。

2,300余世帯の平屋、低層、多層の住宅と公共施設、公園が立派に築かれて、検徳地区を襲った災いが福に転じた。検徳地区の被災地に立派に建設された鉸山村では、住宅入居の儀式に続けて新居入りが行われた。

朝鮮労働党中央委員会の崔輝副委員長、咸鏡南道人民委員会のキム・ボンヨン委員長、咸鏡南道党委員会のキム・ヨンハク副委員長、関係部門の活動家と建設に参加した部隊の指揮官らが新居入りする家庭を訪れて住民を祝った。

労働新聞社説「全党、全人民が苦楽を共にしながら力強く前進しよう」

2020年11月28日付『労働新聞』は社説「全党、全人民が苦楽を共にしながら力強く前進しよう」を掲載した。同社説は、今年は年初から一日一日、一步一步が予期しなかった深刻な挑戦と障害とぶつかった試練の連続であった、世界的な保健危機と連続して襲った自然災害は敵対勢力の過酷な孤立・圧殺策動を粉碎し、高い発展目標を達成するためのわが人民の闘いに想像を絶する難関を来したと指摘した。

金徳訓総理が人民経済の複数の単位を視察

2020年11月29日発『朝鮮中央通信』によれば、金徳訓内閣総理が、平壤火力発電連合企業所と貴城製塩所、雲霞製

塩所を視察した。金徳訓総理は、平壤火力発電連合企業所のタービン職場と熱生産職場など、複数の生産工程を見て回りながら、技術改造を計画的に推し進めて電力生産を増やすことに言及した。特に、首都の生態環境保護に関連して除塵系統の技術改造を急ぎ、より清潔な生産環境を作ることに強調した。

貴城製塩所と雲霞製塩所を訪れた金徳訓総理は、現在行われている海岸防潮堤の補修工事状況をしらべ、高低別に応じて作戦と指揮を正しくし、科学研究機関との緊密な連携の下で先進工法を積極的に取り入れて工事を質的に終えることに言及した。

現地で行われた各協議会では、現存発電能力を最大限に発揮し、関連部門が海岸防潮堤の補修工事に支障を来さないように設備、資材の供給を伴わせるための対策的問題が討議された。

一方、金徳訓総理は、ウォル島干拓地と洪建島干拓地第2段階の建設状況も調べた。

咸鏡南・北道、羅先市の被災地で新居入りの儀式

2020年11月30日発『朝鮮中央通信』によれば、咸鏡南道の新浦市、端川市、利原郡、徳城郡、北青郡、咸鏡北道の清津市、金策市、漁郎郡、吉州郡と羅先市の先鋒区域などの被災地に数千世

帯の住宅が建設され、新居入りの儀式が行われた。

朝鮮労働党中央委第7期第21回政治局拡大会議開催

2020年11月30日発『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮労働党中央委員会第7期第21回政治局拡大会議が同月29日、党中央委員会の本部庁舎で行われた。

金正恩朝鮮労働党委員長が、会議に参加した。

政治局拡大会議には、朝鮮労働党中央委員会政治局常務委員会の委員と党中央委員会政治局の委員、委員候補が参加した。

また、党中央委員会の重要部署の幹部と党大会準備委員会のメンバーをはじめとする当該の人員がオブザーバーとして出席した。

党中央委員会政治局の委任によって、最高指導者金正恩党委員長が会議を司会した。

会議では、朝鮮労働党第8回大会の準備状況を聴取し、当該の対策を立てる問題と党思想活動部門を強化し、対象機関に党の指導体系をより徹底的に立て、政策的指導と党の指導を深化させるために党中央委員会の当該の部署機構を改編する問題、経済活動に対する党の指導を改善し、当面の経済課題執行のための重要問題を主要議案として討議、研究し、

決定した。

朝鮮労働党中央委員会の政治局は、各級党組織の指導機関の活動総括と選挙、党大会に送る代表者選挙のための党会議の進行状況と党大会文書の準備状況、党大会を前後して行う政治・文化行事の準備状況をはじめ、第8回党大会の準備活動状況に関する党大会準備委員会の報告を聴取し、現れた一連の偏向と大会準備委員会の重要任務を指摘し、大会準備委員会が提起した問題に当該の方向を示した。

朝鮮労働党中央委員会の政治局は、わが革命発展の要求に即して党思想活動部門を改善、強化するために当該の問題を審議し、組織機構の問題を承認した。

朝鮮労働党中央委員会の政治局は、経済指導機関が担当した部門に対する指導を主観的・客観的環境と条件に合わせて科学的に行えずにおり、主観主義と形式主義を克服していない実態について深刻に批判し、党の経済政策執行のための手配と指揮において科学性を徹底的に保障し、限りない献身性と責任性を発揮することについて強調した。

朝鮮労働党中央委員会の政治局は、当面の今年の経済課題執行のための重要な問題に対する対策を討議し、重要決定を全会一致で採択した。

ERINA 調査研究部主任研究員
三村光弘